



ミュージア川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団

名曲全集 第214回

*MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 214*

2026年1月17日(土)

Saturday, 17th January, 2026

ミュージア川崎シンフォニーホール

MUZA Kawasaki Symphony Hall

アンケートにご協力をお願いします
<https://gws-net.com/muza/>



音楽をお楽しみ いただくために



皆様にコンサートを
お楽しみいただくために、
ご協力をお願いいたします。



開演中は、携帯電話・スマートフォン・タブレット端末など音や光を発する電子機器の電源をお切りください。光を強く反射する物は鞆におしまってください。



時計のアラーム・時報などは設定の解除をお願いいたします。



ハウリングの発生を防ぐために、補聴器などが正しく装着されていることをご確認ください。



演奏中の入退場はご遠慮ください。全席指定の公演です。ご自分の席でお聴きください。



許可のない写真撮影・録音・録画は固くお断りいたします(カーテンコール時を除く)。



演奏中に音が出ないように十分ご注意ください(鈴のついたお手荷物・飴の包みを開ける際の音・プログラムをめくる音など)。



演奏中の会話はお控えください。



演奏が終わったとき、音が消えゆく余韻を十分に味わってから拍手・ブラボーなどの声援をお送りください。



客席内での飲食はご遠慮ください。



館内では咳エチケット・適切な手指消毒を推奨しております。

カーテンコールの撮影について

「名曲全集」シリーズでは、終演後のカーテンコールの撮影が可能です。撮影は自席にご着席のまま、周りのお客様へご配慮いただきますようお願いいたします。



※前半終了時、アンコール演奏中は撮影いただけません。

※フラッシュの使用、目線より高い位置での撮影はご遠慮ください。

※SNSなどに掲載する際は、ほかのお客様の映り込みにご注意ください。

※スマートフォン、携帯電話以外のカメラでの撮影、自撮り棒の使用はご遠慮ください。



ホール2階
ドリンクコーナー営業中

開演前・休憩時間のひとときにご利用ください。



ミュージア川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 第214回

MUZA Kawasaki Symphony Hall & Tokyo Symphony Orchestra
The Masterpiece Classics Series No. 2142026年1月17日(土)14:00 Saturday, 17th January, 2026, 14:00
ミュージア川崎シンフォニーホール MUZA Kawasaki Symphony Hall

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op. 73 「皇帝」 (45')

Ludwig van Beethoven: Piano Concerto No. 5 in E-flat major, op. 73, "Emperor"

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| I アレグロ | Allegro |
| II アダージョ・ウン・ポコ・モート | Adagio un poco moto |
| III ロンド：アレグロ・マ・ノン・トロツポ | Rondo: Allegro, ma non troppo |

休憩 intermission (20')

ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 op. 92 (40')

Ludwig van Beethoven: Symphony No. 7 in A major, op. 92

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| I ポコ・ソステヌート — ヴィヴァーチェ | Poco sostenuto — Vivace |
| II アレグレット | Allegretto |
| III プレスト | Presto |
| IV アレグロ・コン・ブリオ | Allegro con brio |

※演奏時間は目安です

指揮：大植英次
Eiji Oue, Conductor管弦楽：東京交響楽団
Tokyo Symphony Orchestra, Orchestraピアノ：清水和音
Kazune Shimizu, Pianoコンサートマスター：小林壺成
Issey Kobayashi, Concertmaster

本日の公演は「ニコニコ東京交響楽団」(ニコニコ生放送)による無料生配信を行います。

客席内・舞台上に収録カメラが入っております。
なにとぞご了承ください。視聴サイト「ニコニコ東京交響楽団」(会員登録不要)
<https://live.nicovideo.jp/watch/lv347297878>主催：ミュージア川崎シンフォニーホール(川崎市文化財団グループ)
公益財団法人 東京交響楽団

助成：文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)) | 独立行政法人日本芸術文化振興会



©飯島隆

指揮 Conductor

大植英次 Eiji Oue

1956年広島生まれ。桐朋学園で齋藤秀雄に指揮を師事。小澤征爾の招きによりタングルウッド・ミュージック・センターで学び同年ニューイングランド音楽院指揮科に入学、アーティスト・ディプロマを獲得。タングルウッド音楽祭で恩師レナード・バーンスタインと出会い、以後世界各地の公演に同行。

1995～2002年名門ミネソタ管の第9代音楽監督を務め、同オーケストラ初のヨーロッパ・ツアーと日本ツアーを成功裏に終えた。1998～2009年ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー首席指揮者を務め、その貢献により名誉指揮者の称号を与えられた。2000～2025年ハノーファー音楽大学の終身正教授を務めた。2003～2012年朝比奈隆の後任として大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、2006～2009年バルセロナ交響楽団音楽監督を歴任。

2005年夏には『トリスタンとイゾルテ』を指揮しバイロイト音楽祭に出演、世界の注目を集めた。また大阪御堂筋を中心に店舗やショールーム数十か所で開催する「大阪クラシック」のプロデュースなど、音楽普及への情熱を次々と実現させている。2014年3月には東京フィル「創立100周年記念ワールド・ツアー2014」を指揮。ニューヨーク、パリ、シンガポール等各地で公演、絶賛を博した。

これまでにニューヨーク・フィル、シカゴ響、ミュンヘン・フィル、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ローマ・サンタ・チェチーリア管などに客演、高い評価を得ている。

レコーディングも活発に行っており、2004年ミネソタ在住の作曲家アージェントの作品集「グイーディの館」ではグラミー賞を受賞した。

2006年度大阪芸術賞特別賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2007年11月、第42回大阪市市民表彰を受ける。2009年6月、ニーダーザクセン州功労勲章・一等功労十字章を受章。大阪フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー名誉指揮者。



©Yuji Hori

ピアノ Piano

清水和音 Kazune Shimizu

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。

1995年秋から2年にわたって行われた、ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲演奏会は、その完成度を新聞上で高く評価され、ライブ録音が発行された。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛された。2024年10月には『清水和音の芸術』と銘打たれ、そのベートーヴェンピアノ・ソナタ全集、ソニーミュージック時代、RCA時代の全てのCDが再リリースされている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番と「パガニーニの主題による狂詩曲」の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間では年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。デビュー35周年を迎えた2016年5月には、ブラームスのピアノ協奏曲第1番及び第2番を熟演。同年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇ブランチコンサート」を開始。デビュー40周年となった2021年秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。毎年春に開催している「三大ピアノ協奏曲の饗宴」では、ベートーヴェン「皇帝」、チャイコフスキー第1番そしてラフマニノフ第2番の3曲を一気に披露するなど、精力的な活動を続けている。

桐朋学園大学・大学院教授。

川崎市フランチャイズオーケストラ Resident Orchestra for the City of Kawasaki



東京交響楽団

Tokyo Symphony Orchestra

1946年、東宝交響楽団として創立。1951年に改称し、現在に至る。
2004年7月より、川崎市のフランチャイズオーケストラとしてミュゼ川崎シンフォニーホールを拠点に定期演奏会や特別演奏会を開催し、市内での音楽鑑賞教室や巡回公演、川崎フロンタールへの応援曲の提供など多岐にわたる活動を行う。川崎市文化賞、文部大臣賞をはじめとする日本の主要な音楽賞のほとんどを受賞。新国立劇場開場時よりレギュラーオーケストラとして毎年オペラ・バレエ公演を担当し、教育面では「0歳からのオーケストラ」などが注目されている。海外公演も多く、ウィーン楽友協会を含む58都市80公演を開催。2024年より、アジア全体の音楽文化の向上を図る「東京交響楽団アジア・プロジェクト」を展開している。

日本のオーケストラとして初の音楽・動画配信サブスクリプションサービスや、VRオーケストラ、電子チケットの導入などITへの取組みも音楽界をリードしており、2020年ニコニコ生放送でミュゼ川崎シンフォニーホールからライブ配信した無観客演奏会は約20万人が視聴、2022年には史上最多45カメラで《第九》公演を配信した。2020年には「マッチングギフトコンサート」が川崎市の支援のもと開催され、自治体とオーケストラによる前例のない取組みが注目を集めた。

2014年シーズンより第3代音楽監督に就任した音楽監督ジョナサン・ノットとともに、日本のオーケストラ界を牽引する存在として注目を集めている。「モーツァルト 演奏会形式オペラシリーズ」、ミュゼ川崎シンフォニーホール開館15周年記念公演《グレの歌》に続き、「R.シュトラウス コンサートオペラシリーズ」は、音楽の友誌「コンサート・ベストテン」において、第1弾《サロメ》(2022年)が第2位、第2弾《エレクトラ》(2023年)が第1位に選出。2024年12月の第3弾《ばらの騎士》も大絶賛を博した。2026年4月より第4代音楽監督としてロレンツォ・ヴィオッティが就任予定、楽団創立80周年を迎える。 公式サイト: <https://tokyosymphony.jp>

音楽監督	ジョナサン・ノット	名誉コンサートマスター	大谷康子
桂冠指揮者	ユベール・スターン	第1コンサートマスター ...	小川ニキティングレブ
正指揮者	原田慶太楼		景山昌太郎
名誉客演指揮者	大友直人		小林吾成
永久名誉音楽監督	秋山和慶◆	コンサートマスター	田尻 順
永久名誉指揮者	アルヴィド・ヤンソンス◆		吉江美桜*
	上田 仁◆		
	遠山信二◆		

第1ヴァイオリン

- 木村正貴
- 堀内幸子
- 森岡ゆりあ
- 小川敦子
- 立岡百合恵
- 土屋杏子
- 中村楓子
- 水谷有里
- 吉川万理
- 吉田みのり*

第2ヴァイオリン

- 清水泰明
- 服部亜矢子
- 加藤まな
- 福留史純
- 河裾あずさ
- 小山あずさ
- 鈴木浩司
- 辻田篤行
- 阿部真弓
- 坂井みどり

ヴィオラ

- 青木篤子
- 武生直子
- 西村真紀
- 多井千洋
- 山廣みほ
- 新井瑞穂
- 小西広興
- 鈴木まり奈

チェロ

- ☆伊藤文嗣
- 川井真由美
- 内山剛博
- 蟹江慶行●
- 樋口泰世
- 福岡茉莉子
- 渡邊ゆかり

コントラバス

- 回助川 龍
- ユーティ・ローズブーム
- 北村一平
- 久松ちず
- 安田修平
- 渡邊淳子
- 内岡沙月*

フルート

- 相澤政宏
- 竹山 菱
- フルート&ピッコロ
- 濱崎麻里子

オーボエ

- 荒 絵理子
- 荒木良太
- 浦脇健太
- オーボエ&イングリッシュホルン
- 最上峰行

クラリネット

- エマニエル・ヌグー
- 吉野亜希菜
- 近藤千花子
- 務川広貴*

ファゴット

- 福士マリ子
- 福井 蔵
- 坂井由佳
- 前関祐紀

ホルン

- 上間善之
- 白井有琳
- 藤田麻理絵

トランペット

- 澤田真人
- ローリー ディラン
- 野沢岳史●
- 松山 萌

トロンボーン

- 大馬直人
- 鳥塚心輔
- 住川佳祐
- バストロンボーン
- 藤井良太

テューバ

- 近藤陽一

ティンパニ&打楽器

- 清水 太
- 山村雄大
- 武山芳史
- 綱川淳美

ハープ

- 渡辺沙羅

ライブラリアン

- 林 知也
- 加藤幸子

ステージマネージャー

- 西岡理佐
- 山本 聡

荣誉団員

- 井伊 準◆

☆ソロ首席奏者 ○客演首席奏者 ●首席奏者
○フオアシビュラー ●インスペクター * 研究員 ◆ 故人

ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 op. 73 「皇帝」

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン(1770～1827)は、今でこそ「大作曲家」として知られていますが、若い頃はピアニストとしても大活躍していました。当時、ピアノ協奏曲というジャンルは作曲家兼ピアニストにとって最大の腕の見せ場であり、ベートーヴェンのピアノ協奏曲第1～4番は彼が自作自演で披露するために書かれたものでした。しかしピアノ協奏曲第5番は事情が少し異なります。ベートーヴェンがこの作品を作曲したのは1809年頃、難聴が進み人前ではほとんど演奏しなくなった時期のことです。そのため、これはベートーヴェンが完成させた5曲のピアノ協奏曲のなかで唯一、作曲者が公の場で演奏しなかった作品となりました。

では、これは何のために作曲されたのでしょうか？ それはおそらく、この曲の被献呈者であるルドルフ大公のためだったと考えられています。彼はハプスブルク家の一員で、パトロンとしてベートーヴェンを金銭的に支え、音楽をこよなく愛し、ベートーヴェンから作曲のレッスンを受けていました。そして、半公開の場であったとはいえ、この協奏曲をピアニストとして初演しているのです。この曲のピアニストには卓越したテクニックが要求されますから、ルドルフ大公はかなり達者にピアノが弾けたのでしょう。このピアノ声部には、当時のピアノ——現在よりもずっと音量が小さく、音域ごとのニュアンスに富んだ楽器——を知り尽くしたベートーヴェンならではの工夫が随所に見られます。

なお、「皇帝」という愛称はベートーヴェン自身が付けたものではなく、時の皇帝フランツ1世とも、自ら皇帝と宣言したナポレオンとも、何ら関係はありません。

第1楽章は、伝統的には長いオーケストラの総奏で始まりますが、この曲はそうではありません。金管楽器やティンパニも伴ったフル・オーケストラの総奏が変ホ長調の主和音を高らかに鳴らすと、すぐにピアノが4オクターヴ半にわたる分散和音で、華麗に入ってきます。また同様に、協奏曲にはカデンツァという独奏者だけが即興的に演奏する部分があるのが一般的でしたが、ここでは「即興風の」パッセージとしてすべてが作曲され、緻密に全体の構成に組み入れられています。長大なこの楽章は、交響曲的で力強く、多彩な和声も魅力的です。ロ長調の**第2楽章**では、抒情的な旋律が自由に変奏されます。常に弱音で奏される弦楽器・木管楽器とピアノとの掛け合いが非常に美しい緩徐楽章です。楽章の最後で、独奏ピアノが弱音で第3楽章の主題をほのめかすと、途切れることなく**第3楽章**へ。この上行形の分散和音で始まる変ホ長調の主題を軸に、独奏ピアノの名人芸的なパッセージが挿入されつつ展開されます。その舞踏的な性格は、数年後に作曲された交響曲第7番にも通じるものがあります。ロンド形式とソナタ形式、それに舞曲を総合したような独創的な形式の輝かしいフィナーレです。

ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 op. 92

交響曲第7番は、前作の交響曲から3年ほど空けて1811年から翌1812年に作曲されました。そしてルドルフ大公の助力で私的に上演された後、1813年12月8日にウィーン大学の講堂で行われた慈善演奏会にて初演されました。同じくここで初演された「ウェリントンの勝利」op. 91とともに、交響曲第7番は熱狂的に迎えられ、この演奏会は大成功を収めました。ウィーンにヨーロッパ各地の要人が集まり「ウィーン会議」に沸いたこの時期、ベートーヴェンの大衆からの人気は頂点に達していたのです。その後1816年になってようやく初版が出版されたのですが、その後は次々と多様な編成の編曲版が続き、そこから当時の人気の高さが窺えます。

この交響曲の大きな特徴は、リズムが作品の本質をなしていることです。小さなリズム・パターンが執拗なまでに反復されることによって、驚くべきエネルギーが生まれています。たとえば第1楽章での付点リズム、第2楽章の4分音符1つと8分音符2つ（♪♪）のリズムなど、楽章ごとに一貫したリズムが用いられ、それが音楽の推進力を支えているのです。そして、ヴァーグナーが「舞踏の神格化」と呼んだように、その強烈なリズムがこの作品全体を舞踏的なものにしてしています。また、この時期のさまざまなベートーヴェンの作品にも見られるように、主題がカンタービレな（歌うような）性格を持っていることも特徴的な点です。口ずさめるような親しみやすい旋律は、現在の「ベト7」人気の背景でもあるでしょう。

第1楽章は、それまでにベートーヴェンが書いたなかで最も長く精巧な導入部から始まります。続くソナタ形式の主部は、木管楽器によるリズム動機の提示から明快な旋律が導かれます。コーダでは低音の音型が何度も繰り返され、音楽のテンションを高めてゆきます。**第2楽章**は葬送行進曲風の緩徐楽章です。イ短調とイ長調が交替しながら進みます。初演の演奏会でヴァイオリンを弾いたルイ・シュポーアは、この楽章がアンコールされたと回想しています。**第3楽章**は5部分形式のスケルツォ。へ長調のスケルツォ主題とニ長調の中間部とが鮮やかに対比されています。**第4楽章**は自由なソナタ形式で、圧倒的な輝きと人々を熱狂させる律動に満ちています。どこかトランス状態に陥りそうな危うさを含みつつ、秩序を保って進みます。不規則なスフォルツァンドによる強調も印象的です。そして長くエネルギーギッシュなコーダで締めくくられます。

（越懸澤麻衣）

名曲全集2026-2027シーズンも、どうぞご期待ください!

ミューザ川崎シンフォニーホール&東京交響楽団

名曲全集 2026-2027シーズン 各回14:00開演

前期

第216回 4月25日(土)

指揮:パブロ・エラス=カサド

シューベルト:交響曲 第7番「未完成」
ブルックナー:交響曲 第6番

第217回 5月17日(日)

指揮:ロレンツォ・ヴィオッティ(東京交響楽団 次期音楽監督)

〈音楽監督就任披露〉

ベートーヴェン:交響曲 第1番
マーラー:交響曲 第1番「巨人」

第218回 6月14日(日)

指揮:オスモ・ヴァンスカ

ベートーヴェン:交響曲 第8番
ラフマニノフ:交響曲 第2番

第219回 7月11日(土)

指揮:熊倉 優 ヴァイオリン:ドミトロ・ウドヴィチエンコ

モーツァルト:歌劇「ドン・ジョヴァンニ」序曲
コルンゴルト:ヴァイオリン協奏曲
R. シュトラウス:交響詩「ドン・ファン」
R. シュトラウス:交響詩「死と変容」

第220回 9月26日(土)

指揮:ユベール・スダーン(東京交響楽団 桂冠指揮者)

ピアノ:アレクサンドラ・ドヴガン

メンデルスゾーン:序曲「フィンガルの洞窟」
ショパン:ピアノ協奏曲 第2番
メンデルスゾーン:交響曲 第4番「イタリア」

後期

第221回 10月10日(土)

指揮:ロレンツォ・ヴィオッティ(東京交響楽団 次期音楽監督)

J. S. バッハ(齋藤秀雄編):シャコンヌ
ショスタコヴィチ:交響曲 第10番

第222回 12月5日(土)

指揮:沼尻竜典 ソプラノ:船越亜弥
メゾ・ソプラノ:山際きみ佳 テノール:澤武紀行
バリトン:池内 響 合唱:東響コーラス武満 徹:混声合唱のための「うた」から“翼”
武満 徹(沼尻竜典編):混声合唱のための「MI・YO・TA」
武満 徹:混声合唱のための「うた」から“小さな空”
ベートーヴェン:交響曲 第9番「合唱付き」

第223回 2027年1月23日(土)

指揮:大井 駿

モーツァルト:歌劇「魔笛」序曲
モーツァルト:交響曲 第39番
J. シュトラウス2世:皇帝円舞曲
R. シュトラウス:「ばらの騎士」組曲

第224回 2027年2月14日(日)

指揮:喜古恵理香 ピアノ:デジュー・ラーンキ

武満 徹:3つの映画音楽 モーツァルト:ピアノ協奏曲 第23番
シベリウス:交響曲 第2番

第225回 2027年3月28日(日)

指揮:大友直人(東京交響楽団 名誉客演指揮者) チェロ:北村 陽

ドビュッシー:小組曲 サン=サーンス:チェロ協奏曲 第1番
シャブリエ:狂詩曲「スペイン」
ドビュッシー:交響詩「海」管弦楽のための3つの交響的素描

	S席	A席	B席	C席	ミューザ友の会 & 東響会員先行発売	ミューザWeb & TOKYO SYMPHONY オンラインチケット先行発売	一般発売
年間セット券[10公演]	51,000円	43,500円	33,750円	26,250円	好評発売中!		
前期セット券[5公演] (第216回~第220回)	26,800円	22,800円	18,000円	14,000円	2月3日(火)	2月5日(木)	2月10日(火)
後期セット券[5公演] (第221回~第225回)	27,600円	23,600円	18,000円	14,000円	6月2日(火)	6月4日(木)	6月9日(火)
1回券 (第217・221・222回)	7,500円	6,500円	4,500円	3,500円	前期1回券は、前期セット券と同時発売 後期1回券は、後期セット券と同時発売		
1回券 (第216・218~220・223~225回)	6,500円	5,500円	4,500円	3,500円	*友の会・東響会員は10%割引		

25歳以下当日券

(学生に限らず25歳以下の方) 1,000円(要問合せ)

*セット券のミューザ友の会・東響会員料金はありません。

*セット券の取り扱いは、ミューザ川崎・TOKYO SYMPHONY オンラインセンターのみ。

*年間・前期セット券は3月20日(金・祝)、後期セット券は9月19日(土)までの販売です(販売終了当日はミューザ窓口直接購入のみ)。

お問合せ・お申込み

*ミューザ友の会会員の先行予約・割引販売は☑にて受付。*ミューザ友の会先行発売初日は電話予約とWebのみ受付。

*最新の開催情報・残席状況は公式サイトでご確認ください。https://www.kawasaki-sym-hall.jp/

■ミューザ川崎シンフォニーホール

☎ 電話予約 044-520-0200(10:00~18:00)

☎ 4階チケットカウンター 10:00~19:00

☎ ミューザWebチケット https://muza.pia.jp/

(登録無料・24時間受付 ※火・水 2:30~5:30を除く) 発売初日は10:00~

■TOKYO SYMPHONY チケットセンター

044-520-1511(平日10:00~18:00/土日祝休み)

TOKYO SYMPHONY オンラインチケット

https://tokyosymphony.jp 発売初日は10:00~

*東響会員の先行予約・割引販売を受け付けます。

セット券も
Webで
購入可能!

やくよけ・家内安全・交通安全・商売繁昌

川崎大師

大本山 川崎大師平間寺

京急川崎駅から京急大師線で川崎大師下車
JR川崎駅東口からバスで大師バス停下車

<https://www.kawasakidaishi.com>

公式Instagram更新中!



川崎大師公式キャラクター
ひらまくん



ENEOS

とどけ! 熱いエネルギー ENEOS

ミュージア川崎シンフォニーホールの公演事業は
ホールスポンサーの皆様によって支えられています

(敬称略・50音順)

・法人・

●特別賛助会員

川崎幸病院	キャノン株式会社	ジェクト株式会社
川崎信用金庫	サントリーホールディングス株式会社	三井不動産グループ

●賛助会員

税理士法人あおぞら会計 株式会社イープラス ENEOS株式会社 神奈川臨海鉄道株式会社 川崎アゼリア株式会社 公益社団法人川崎市医師会 川崎市信用保証協会 公益社団法人川崎市病院協会 一般社団法人川崎市薬剤師会 川崎鶴見臨港バス株式会社 川崎日航ホテル	かわさきファズ株式会社 川崎臨港倉庫埠頭株式会社 ケイジーケイ株式会社 京浜楽器株式会社 公益財団法人JFE21世紀財団 株式会社シグマコミュニケーションズ セレサ川崎農業協同組合 大本山川崎大師平間寺 高橋昌也税理士・FP事務所 株式会社デイ・シー 東亜石油株式会社	株式会社東芝 日本冶金工業株式会社 川崎製造所 びあ株式会社 ホテルメトロポリタン 川崎 ヤマハサウンドシステム株式会社 株式会社ワイイーシーソリューションズ * 大宮町町内会 他3法人
--	--	---

●わくわくミュージア 法人サポーター

稲毛神社	おつけもの慶
------	--------

・個人・

阿部孝夫	岡垣克則	久住映子	杉山弘子	長谷川喜代江	山田昌克
新井智彦	小笠原 将	小菅みつほ	鈴木 徹	林 直人	A.H
市橋信一郎	岡田 元	国府保周	高井延幸	廣瀬治昇	D.Y
井上敏昭	岡野 功	後藤 実	高橋美子	藤嶋とみ子	K.O
宇佐美清一	小倉ヒロ・ミハエル	小林知子	竹内啓介	堀江智巳	M.C
遠藤智和	小野洋彰	佐伯 昇	都築 豊	前田 泉	N.A
大越麻美子	金山直樹	佐藤晴茂	中村紀美子	松嶋邦生	T.Y
大須賀徳也	喜多紘一	佐野義寛	西 洋子	山内利夫	
大塚具幸	木伏源太	新保和浩	西山英昭	山下啓史	他匿名19名

(2025年12月25日現在)

|| ご支援のお願い ||

ミュージア川崎シンフォニーホールは川崎はもとより、世界における音楽文化の発展に尽力してまいります。
芸術にご理解の深い法人、個人の皆様にご支援をお願いしております。
多くの皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。
詳しくはスポンサー担当 (TEL 044-520-0100) までお問合せください。

 TOKYO
SYMPHONY
ORCHESTRA
Jonathan Nott, Music Director

MUZA
KAWASAKI
SYMPHONY HALL


音楽のまちかわごき

